

都市計画審議会でのご意見及び  
今後のスケジュールについて

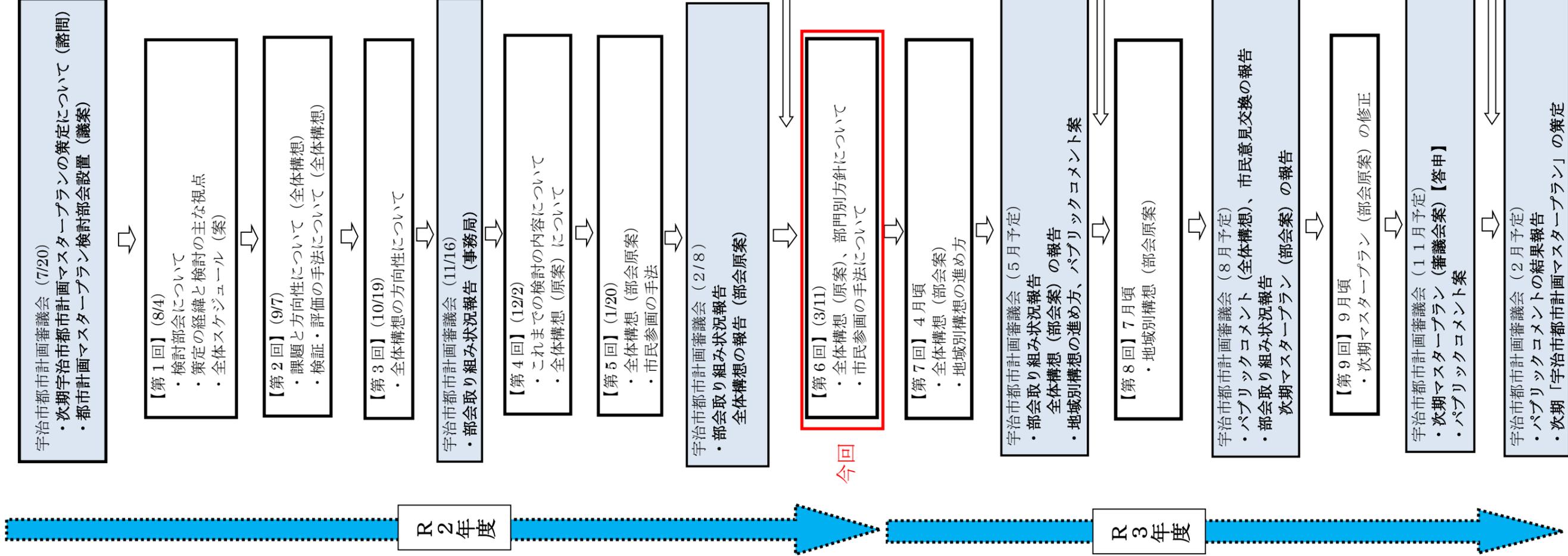
前回都市計画審議会（都市計画マスタープラン（中間報告））からの意見

項目	ご意見（都市計画審議会）	ご回答（検討部会）	案への反映
<p>2-3 都市構造 ② 産業 (p11～p14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのMPと比較しても大変多岐にわたる分析だと思いが、「産業」を一つの項目としてもっと大きく記載しないのか。</li> <li>・産業、企業立地にもっと触れてもよいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のMPでも産業だけを特に大きく扱っていない。</li> <li>・「産業戦略」をMPの基本理念と基本目標で扱うものでなく、全体構想の部門別方針、地域別構想で議論すべき。</li> <li>・産業構造が以前と変化してきている。</li> <li>・部会としては、産業戦略を尊重するような形で載せている。</li> <li>・今後、総合計画という大きな視点で部局横断的に議論してもらい、MPと整合を図る必要がある。</li> </ul>	<p>(資料3、P2、P5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現MPと同様、部門別方針の「土地利用」にて整理</li> <li>・今後、総合計画の検討を踏まえ、具体的な記述については地域別構想にて検討</li> </ul>
<p>2-5 交通 (p18～p19)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通は、誘致圏域から見ると人口の9割をカバーしている。</li> <li>・公共交通は大量輸送が基本ですので、大量輸送だけの公共交通では全国的に限界にきている。</li> <li>・生活サービス施設の分布状況で、徒歩圏800mとあるが、移動に困っている人には800mは大きい。</li> <li>・誘致圏域の基準値だけで、交通弱者の移動についてどう評価するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人によって徒歩圏アクセシビリティは違ってくる。</li> <li>・仮にこういう範囲で分析した場合の結果と理解してほしい。</li> <li>・質的な転換となると、何を重点的に選択するのか、どう点検するかということが問題になる。</li> <li>・総合計画での検討が非常に意味がある。</li> </ul>	<p>(資料3、P6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現MPと同様、部門別方針の「交通」にて整理</li> <li>・今後、総合計画、公共交通体系の検討を踏まえ、具体的な記述については地域別構想にて検討</li> </ul>
<p>2-8 都市防災 (p21)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市防災で浸水被害について、流域治水などの新しい防災の考えなどもある。</li> <li>・今、大戸川ダムの議論なども始まっており、地域の安全度の表示というものがあると良いのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府には発生頻度の高い災害レベルに対する利用可能なデータはないが、MPには今あるデータを使って、最大の災害で影響を受ける所を記載している。</li> <li>・今後、適当なデータがあれば、本計画にも追加したい。</li> </ul>	<p>(中間報告、P21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直避難が必要な1階が浸水する(浸水深が3m以上)エリアを表示</li> <li>・中間報告の都市防災関連現況図に明記済</li> </ul>
<p>3-2 これからの都市計画の視点 (p24～p26)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現MPは、人口減少という認識は薄かったけど、人間らしい町にどうやっていくかという、20年後の課題認識はあった。</li> <li>・今回は、人口で言うと明らかな減少期で、それをどうするかということが今回の主なテーマになって、現MPに対して、かなり否定的な評価に至ったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現MPは、非常に先進的で、住民参加型で策定した。</li> <li>・この精神は、パートナーシップという形で、今回も引き継いだ。</li> <li>・しかし、まだできていないところの1つが診断と点検。</li> <li>・今後、最終編をまとめるときに、地域レベル等で診断を開示し、市民意見を頂いて、前に進んでいったら良いのではないか。</li> </ul>	<p>(中間報告、P24)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの都市計画の視点に検討経過は明記</li> <li>・市民意見聴取にて視点についても聞きたい</li> </ul>
<p>3-4 将来都市構造の基本的な考え方の骨格 ⑥ 活力ある都市をめざす新たな取組 (p39)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年近く前に横島地域にインキュベーションを行い工業を職住一体で拠点を作るべきではないかという議論があった。</li> <li>・今回、横島地域に新しい産業拠点が計画されているが、それは一定評価したい。</li> <li>・一方で、農地から土地利用を変えることや災害に対する考えを聞かせてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治市の産業戦略の中で、企業立地が施策判断としてあるなら、その準備も必要であると考え、検討エリアを設けた。</li> <li>・災害については、例えばば立地適正化計画の中で、居住誘導区域など、リスクを適切に判断し指定していくことが必要。</li> <li>・宇治らしさ、ライフスタイルの変化、エネルギー、低炭素化など産業には色々な課題があるので、MPの部会の中だけでは議論できない。</li> <li>・総合計画での議論にも期待したい。</li> </ul>	<p>(中間報告、P29・P39)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用転換は、農業施策など現施策との調整が必要。よって、MPでは、基本的な考えとして産業立地検討エリアを明示済。</li> <li>・今後は市施策として可能性を検討する。</li> </ul> <p>(資料3、P2、P5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現MPと同様、部門別方針の「土地利用」にて整理。</li> </ul>
<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の全地球規模の食料危機の可能性に対し、農地や山林は非生産的なものなんだからという捉え産業用地の転用して良いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの土地が果たすべき役割や地域が果たすべき機能はあるが、タイミング、タイミングで診断し検討していく中で、必要なものがあれば適宜取り入れていくという議論も大事。</li> <li>・今回は、その1つ目のステップだと理解して頂きたい。</li> </ul>	<p>(中間報告、P39)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用転換は、農業施策など現施策との調整が必要。よって、MPでは、基本的な考えとして産業立地検討するエリアとして明示。</li> </ul>
<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治市は製造業で栄えて来たが、製造拠点が海外に移転し、日本は物流と研究開発だけが国内に残るような状況で雇用が減っている。</li> <li>・ものづくり産業が大事なと考えるが、農地を切り崩して農業を減らしてまで用地を確保すべきではない。</li> <li>・今ある工業用地を再興するようなMPにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい産業や仕事のスタイルが変わる中、これまでとは異なる考えをとり入れ、適応的に変更していく検討も必要であるという提案だと理解頂きたい。</li> </ul>	<p>(中間報告、P39)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用転換は、農業施策など現施策との調整が必要。よって、MPでは、基本的な考えとして産業立地検討するエリアとして明示。</li> <li>・今後は市施策として可能性を検討する。</li> </ul>
<p>3-4 将来都市構造の基本的な考え方の骨格 (p40～p42)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄大久保駅前にある自衛隊の在り方について、改めて検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の検討の参考といたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは市施策としての整理が必要</li> <li>・MIP改訂での反映は難しい</li> </ul>
<p>4-1 部門別方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の活用や防災についてはどう考えているのか。</li> <li>・国や府にも豊かな森を育てる税等の支援があるので、そういうものを活用しながら、治水対策をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山間地域は、都市計画区域からは除かれるため内容は薄くなる</li> <li>・前回の計画策定の時から言われている。</li> <li>・市街地調整区域は宇治市の大事な資源であり事務局と相談して検討したい。</li> <li>・現行のMPの一部改訂にあたって、市街地調整区域の既存集落についての支援方針を付け加えた経緯がある。地域別構想の中で具体的に書き込んでいく内容だと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別構想において検討。</li> </ul>

# 全体スケジュール (案)

都市計画審議会

宇治市



## 市民参画の手法について

